

対馬市成人式

589名が大人の仲間入り



誓いのことばを述べる西山和彦さん



市長より成年証書を受け取る
敵原町代表の黒岩南さん



新成人の門出を祝う対馬市成人式が、1月8日、シャインドームみねで開催されました。

今年成人式を迎えたのは、昭和60年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた人で、対馬市では589名（昨年比26名減）。そのうち男性188名、女性234名の合計422名の新成人が式に参加しました。

式では、松村市長から各町代表の新成人（敵原〓黒岩南さん 美津島〓今林摩美さん 豊玉〓原田洋三さん 峰〓宮本慎一さん 上県〓江藤啓さん 上対馬〓庄司美萩さん）に成年証書が授与されました。

その後、美津島町の西山和彦さんが「私たちは郷土対馬を誇りに思い、周りの人々への感謝を忘れることなく、21世紀の担い手として自覚と責任を持って行動し、自らの選んだ道を信じ、心豊かに生きることを誓います」と誓いのことばを述べました。

また、落語家の桂文喬さんが「夢を実現するには、夢が叶うと信じて念じ、努力して下さい。努力は必ず報われます。報われるまで努力すればいいのです」と講演。成人者を笑わせながら、より良い



人生を生きる秘訣を分かりやすく講演し、新成人の門出を祝福しました。

会場では、久しぶりに再会した友人達と談笑したり、記念撮影を行うお馴染みの光景が見られました。撮影にデジタルカメラや携帯電話を使用するところが現代を象徴していました。



対馬市消防出初式

防火・防災の決意新たに

新春を飾る恒例の対馬市消防出初式が、1月5日、上対馬総合センターで開催され、市内の消防団員450名（厳原65名、美津島55名、豊玉50名、峰35名、上県45名、上対馬200名）をはじめ、消防署員等多くの関係者が参加し、地域の防火・防災の決意を新たにすると共に、土気の高揚と団結を誓いました。

式典で松村市長は、昨年3月に発生した福岡県西方沖地震に触れ、「災害は忘れた頃にやってきます。これを教訓として災害に強い街づくりを努力します」と式辞を述べました。その後、消防庁長官、県知事、県消防協会長等から、消防業務に功績のあった団員等（延べ311名）への表彰や退職団員（延べ219名）への感謝状の授与が行われました。

式典終了後は、上対馬地区消防団が式典会場から比田勝港埋立地まで市巾行進を行い、その後消防車両による一斉放水を実施しました。そのほか、各地区でも市巾行進、放水訓練などが行われました。

なお、平成17年における対馬市での火災の発生件数は、建物23件、林野11件、車両3件、その他7件の計44件でした。



市長に人員報告を行う永留市喜対馬市消防団長



上対馬地区消防団による市巾行進



一斉放水

各地区での出初式の様子



各地区での市巾行進を盛り上げてくれた幼年消防クラブ



豊玉



上県



上対馬